千葉大学医学部附属病院で手術を受けられた
患者の皆様、ご家族の皆様へ

２０２６年９月１日

麻酔・疼痛・緩和医療科

麻酔・疼痛・緩和医療科では、手術と術後転帰に関する研究を行っており、以下に示す方の療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

２０１８年４月１日～２０２５年８月３１日の間に当院で手術を受けられた方

１．研究課題名

「多施設周術期データベースの構築と術後転帰に関する探索的解析」

２．研究期間

２０２６年承認日～２０３１年８月３１日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

３．研究の目的・方法

本研究では、手術を受けられた患者さんの診療情報を用いて、手術前後の時期のより安全で質の高い医療の実現を目指します。

電子カルテや麻酔記録、集中治療室の記録などに保存されている診療情報（手術前・手術中・手術後の経過、検査結果、使用した薬剤や輸液量、血圧や呼吸の状態など）や、入院中の診療内容・入院期間などの情報を利用します。

これらの情報を統計学的手法や人工知能（AI）を用いた解析手法によって分析し、どのような周術期管理が術後の合併症の予防や回復の促進につながるのか、また医療資源のより適切な活用につながるのかを検討します。

本研究で得られた知見は、今後のより安全で質の高い周術期医療の提供や、患者さんの予後改善に役立てることを目的としています。

本研究では、氏名や患者番号などの個人を直接特定できる情報を削除し、研究用の番号に置き換えた情報を用いて解析を行います。解析は主に当院において実施し、取得データを共同研究機関へ提供することはありません。

４．研究に用いる情報の種類

電子カルテ、電子麻酔記録システム、集中治療部門システムおよび入院診療情報に記録されている、年齢、性別、身長、体重、既往歴、診断名、手術内容、麻酔方法、手術中の生体情報（血圧、心拍数、呼吸状態など）、使用薬剤、輸液量、出血量、尿量、各種検査結果、術後経過、術後合併症、入院期間、退院時転帰、診療報酬の請求情報や医療費などの診療情報を収集します。

５．研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
千葉大学医学部附属病院	田口　奈津子
共同研究機関名	研究責任者
大垣市民病院	横山　達郎
松戸市立総合医療センター	北村　祐司
成田赤十字病院	佐野　誠

６．個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院麻酔・疼痛・緩和医療科および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html）

７．研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口
〒２６０－８６７７
千葉県千葉市中央区亥鼻１－８－１
千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）
麻酔・疼痛・緩和医療科　教授　田口 奈津子
０４３（２２２）７１７１　内線　７３５１６